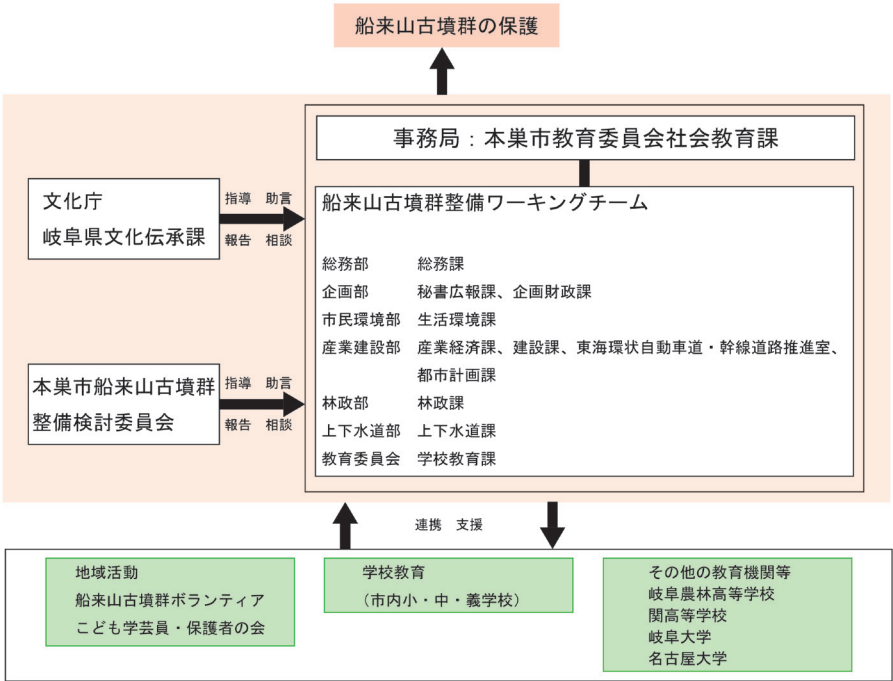


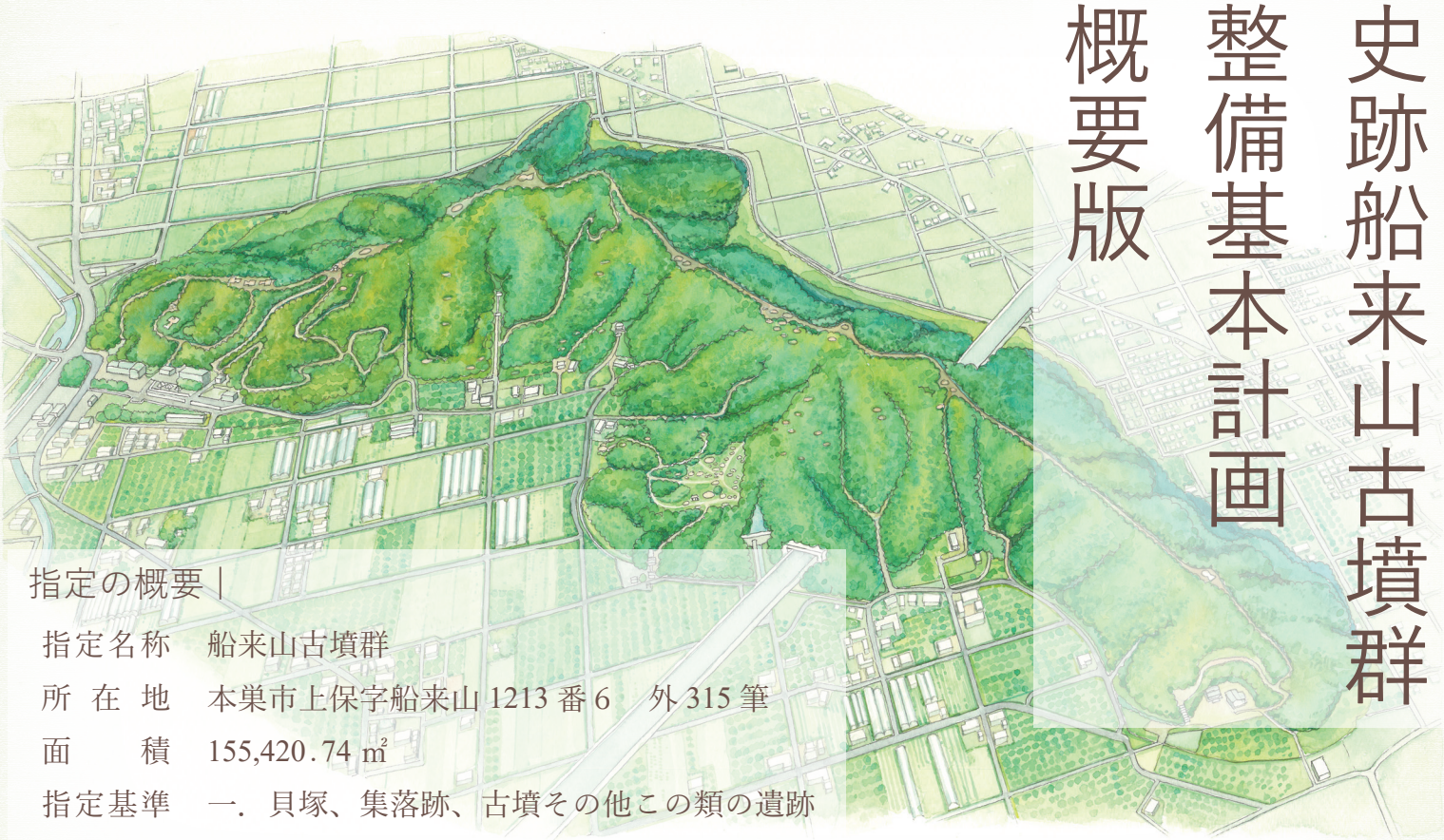
事業スケジュール |

項目／期間	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	令和12年度 (2030年度)	令和13年度 (2031年度)	令和14年度 (2032年度)
船来山O支群 基本設計										
現況地形測量										
駐車場と仮設トイレ予 定地の用地交渉										
試掘確認調査										
工事用道路予定地の現 地測量										
第1期工区（d小支 群）の実施設計										
第1期工区整備工事										
駐車場と仮設トイレ等 の整備工事										
第2期工区（c小支 群）の実施設計										
第2期工区整備工事										
第3期工区（a、b小 支群）の実施設計										
第3期工区整備工事										
船来山O支群整備事業 報告書作成										
計画部分改定・増補										
古墳と柿の館所管替え 交渉・改修協議										
歴史体験ゾーンの整備 (M・N・Q支群)										
ジョギングシューズ コースの整備										
石室カルテ調査事業										
石切場・中世山城の詳 細遺跡分布調査										
未発掘調査古墳の範囲 確認調査										
チェックシート による自己点検										

管理・運営体制 |



史跡船来山古墳群
整備基本計画
概要版



指定の概要 |

指定名称 船来山古墳群
所在地 本巣市上保字船来山 1213 番 6 外 315 筆
面積 155,420.74 m²
指定基準 一、貝塚、集落跡、古墳その他この類の遺跡

整備の基本理念 |

先人の思い、知恵、技を体感できる古代と未来のかけ橋～船来山古墳群

整備の基本方針 |

1 本史跡の価値の将来にわたる保存管理

本史跡の本質的価値を守り、継続的な調査・研究により、確実な保存管理を図る。

2 その他の視点に基づく価値との一体的な保存管理

様々な土地利用や機能がもたらされる中で形成されてきた本史跡周辺の地域、さらに、景観的にも重要な価値がある自然環境の一体的な保全・保存を図る。

3 古墳の価値や時代の姿を体験できる環境整備

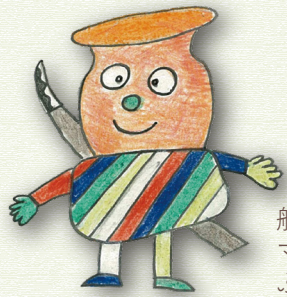
本質的な価値の丁寧な解説、魅力的で快適な環境の創出・整備、時代を体感できる仕掛けなどにより、国内外の多様なニーズに対応できる環境整備を行う。

4 周辺地域と連携した整備・活用

本史跡の本質的価値や魅力の理解・周知のため、周辺古墳群やその他の遺跡・文化資源との連携した活用を図る。

5 地域の参画に基づく持続的な維持管理・運営

調査・研究、保存・活用、運営を持続的に推進するため、関連する庁内部局、行政組織、研究者、ボランティア、学校・地域住民などと協働し、多くの人が関わる体制づくりを行う。



船来山古墳群
マスコットキャラクター
ふなっきー

19号墳周辺 整備イメージ |



整備方針

目で見る群集墳

群集墳の構成や横穴式石室の多様性を現地で体感（視認）できる整備

古墳見学ゾーン

- 古墳の保存整備
墳丘復元、石室展示、小石室展示、埋戻し保存
- 解説板等の設置
解説板、誘導板、名称板、眺望解説板等の整備
- 園路・階段の整備
四阿、ベンチの設置 など

サブエントランスゾーン

- 古墳の保存整備（埋戻し保存）
- 解説板の設置
- 園路・階段の整備 など

多目的広場

19号墳

58号墳

四阿

駐車場・トイレ

船来山の支群のエントランスとして相互補完

58号墳周辺 整備イメージ |



四阿周辺 整備イメージ |



エントランスゾーン

- 階段・手すりの整備
- 駐車場の整備
- トイレの整備